

調和体を書く (14)

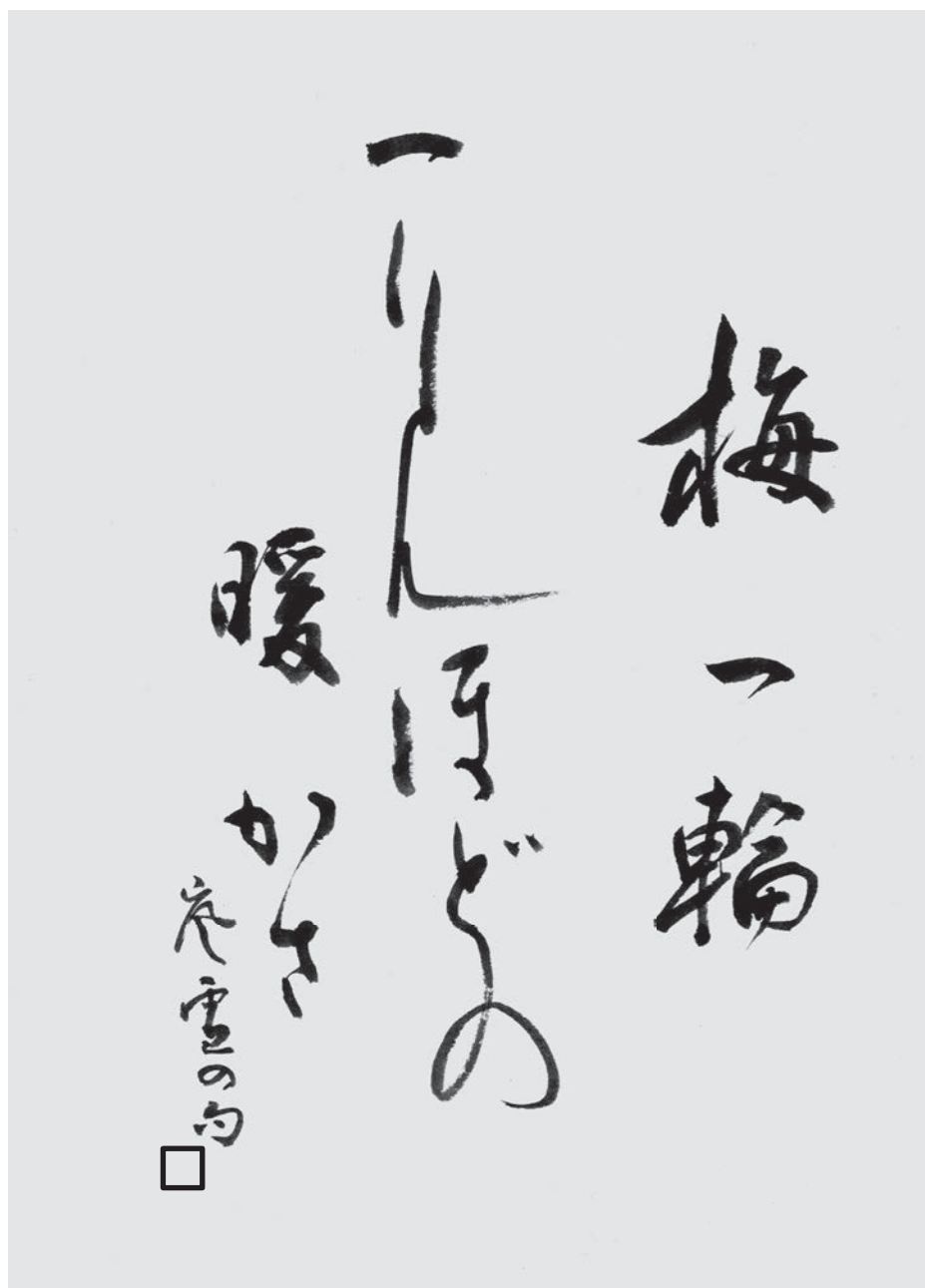
締切り 二月二十二日 (必着)

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B5判に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

奥村憲照先生書



◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書展の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に關係していた頃の^{しんわよう}新和様のお手本です。本誌初登場です。

◆好評につき今年も続けます。工夫し楽しんで研究してまいりましょう。

〔読み〕

梅一輪 りんぼどの

暖かさ

風雪の句^{らんせつ}

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※落款は雅印のみでもよろしいが、署名する方は、作品全体のバランスを考えて収めて下さい。印のない方は赤ペンで□を書き入れて下さい。

一般部規定課題

締切り 2月22日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

〔解説〕

◎今月は草書（行草）。運筆は常に軽く、形体の動的な美しさと、リズムの変化等で芸術性を高め、書くことが大切です。

▲教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

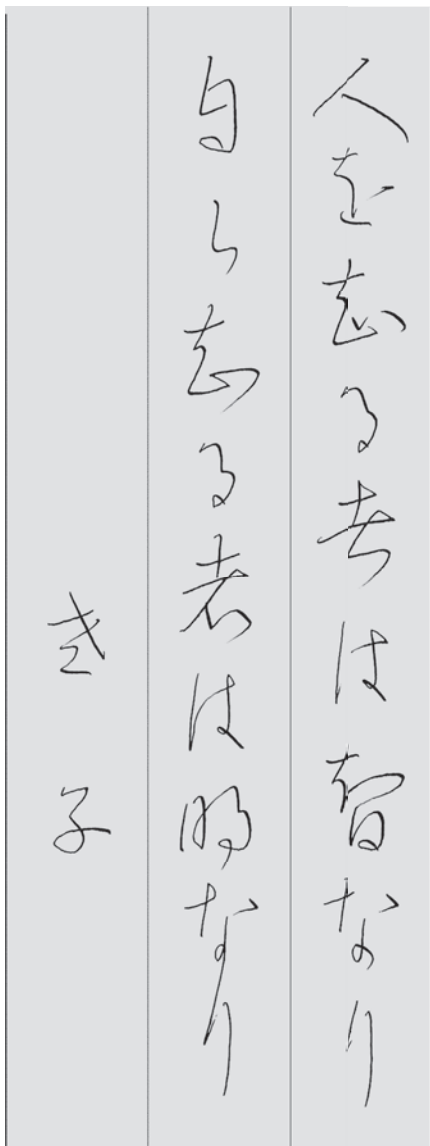
〔読み〕人を知る者は智なり 自ら知る者は明なり 老子

「同字変化」

「同字変化」

「同字変化」

「同字変化」



おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

- ◆3月課題予告（行書）
芸術というものは
嘘と現実の境の
微妙なところにある
- ▼教範・書範Ⅱ楷書
- ▼師範Ⅱ行草または草書

★人を…（書体Ⅱ行草または草書）
老子（前六〇四〜前五三一）
中国春秋時代の思想家・哲学者
人を知るだけでも並大抵のことでは
ありません。それよりもはるかに難し
いのが自分を知ることです。
人のことはわかってても、自分のこと
はわからないのが一般的ではあります
が、それでは事に臨んで的確な判断を
下すことはできないと言っています。

「同字変化」

「同字変化」

「同字変化」

「同字変化」

「同字変化」

	算	算
	少	多
	な	き
	き	は
孫	は	勝
	勝	ち
子	た	
	ず	

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★算多き…（書体Ⅱ行書）
孫子（前五〇〇年頃）
中国の孫武の作とされる兵法書
孫子は「勝算の多い方が勝ち、少
い方が敗れる」と語ったあとで、「而
るを況や算なきに於いておや」…まし
て勝算がなかったら勝てはしないのだ
とダメ押しをしています。
何事も、確かな計画を立ててかかれ
ば、失敗も少ないでしょう。

◆3月課題予告（楷書）
才能は
孔雀の尾のように
自ら引き出す事だ

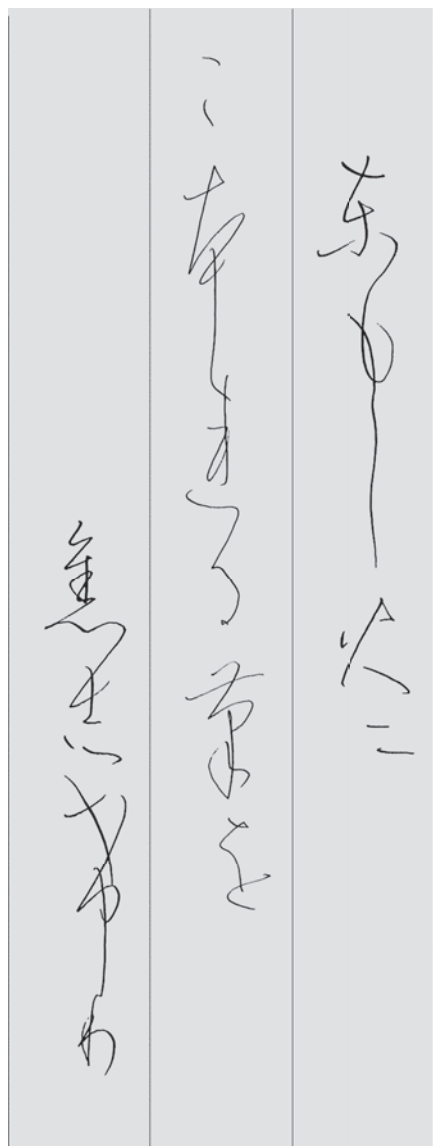
一般部かな課題

締切り 2月22日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

東
二
本
連
ともし火に氷れる筆を焦しけり
志
希
利

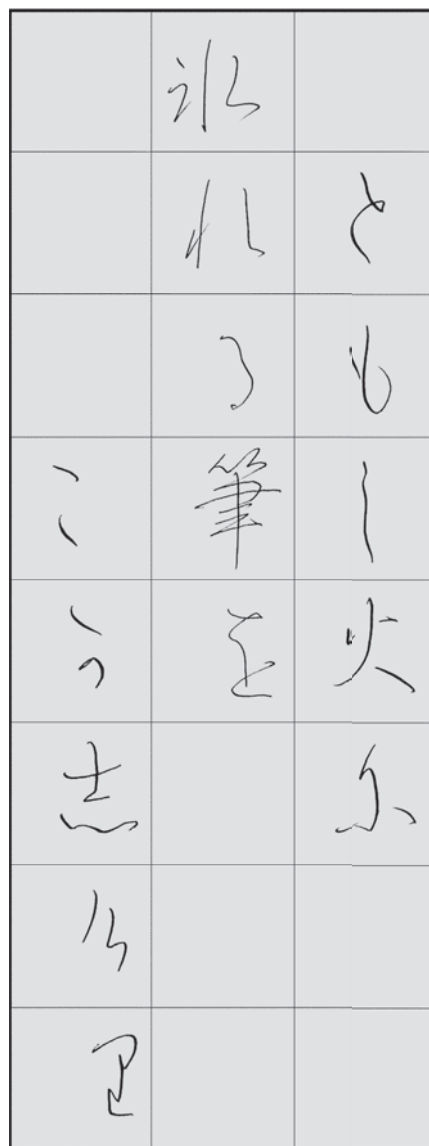


た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

ともし火に氷れる筆を焦しけり
可
志
介
里



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆3月課題予告

絵草紙に鎮おく店や春の風

(高井几童)

【解説】へしゝの字母は、へ之ゝです。で、字母を頭に入れて、左右に揺すりながら下部へ引く。

里り 希け 志し 連れ 尔に
里 希 志 連 尔

【古筆参考】

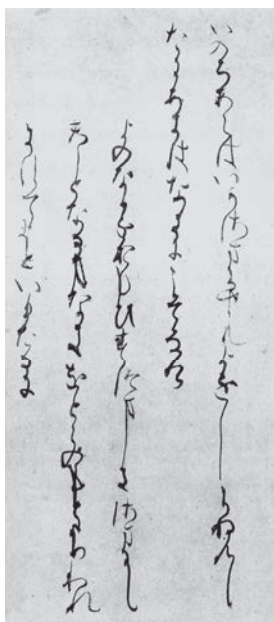
語には、我ながらおかしいと我が失敗を興ずる口吻がうかがえる。

【鑑賞】〈冬夜〉と前書がある。暖房設備が不完全な当時、筆先まで凍ってしまうのである。〈焦しけり〉という

ともし火に氷れる筆を焦しけり
(吉分大魯)

〔古筆参考〕

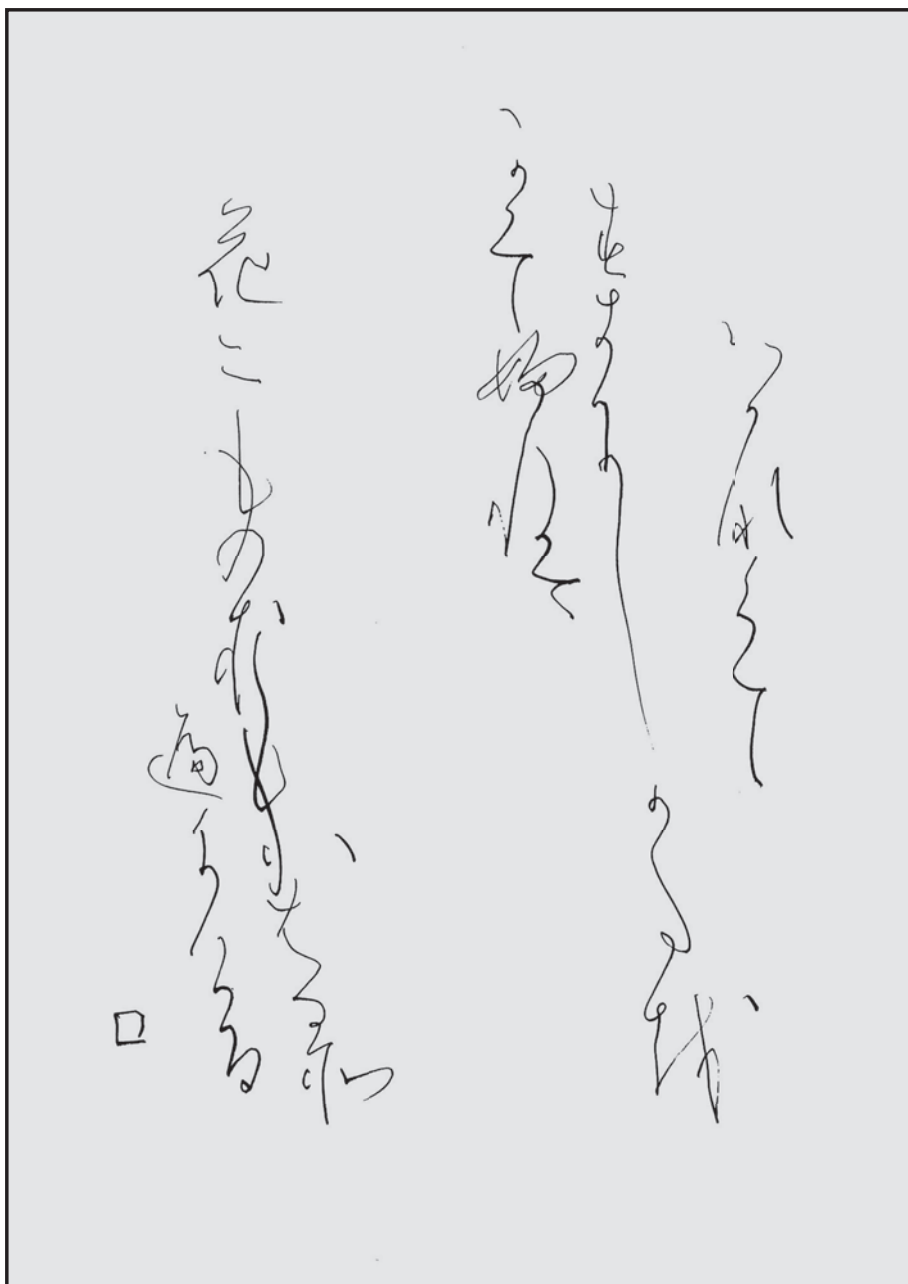
いずみ しき ぶ ぞく しゅう ぎれ
和泉式部続集切



いのちあらばいかさまにせんよをしらぬし
だにあきはなきにこそなけ
よのなかをおもひすつまじきさまにし
てことなる事なきをとこのもとよりわれ
にすてよといひたるに

締切り 二月二十二日（必着）

築瀬舟香書



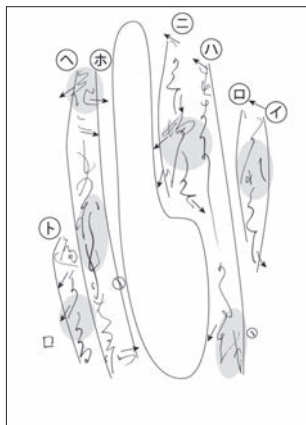
ハ可那 春支尔 可多越可 歸盤
はかなくて過ぎにしかたをかぞふれば
花に物思ふ春ぞへにける

〔歌意〕とりとめなく過ぎてしまった
今までの年月を数えてみると、花を見
ては物思いに沈む春を幾度も経てきた
ものだなあと思われます。

〔出典〕新古今和歌集

（新潮日本古典集成）

〔解説〕



- ①と㊦、①と㊧、①と㊨、①と㊩、①と㊪、①と㊫、①と㊬、①と㊭、①と㊮、①と㊯、①と㊰、①と㊱、①と㊲、①と㊳、①と㊴、①と㊵、①と㊶、①と㊷、①と㊸、①と㊹、①と㊺、①と㊻、①と㊼、①と㊽、①と㊾、①と㊿
- ①と㊦、①と㊧、①と㊨、①と㊩、①と㊪、①と㊫、①と㊬、①と㊭、①と㊮、①と㊯、①と㊰、①と㊱、①と㊲、①と㊳、①と㊴、①と㊵、①と㊶、①と㊷、①と㊸、①と㊹、①と㊺、①と㊻、①と㊼、①と㊽、①と㊾、①と㊿
- ①と㊦、①と㊧、①と㊨、①と㊩、①と㊪、①と㊫、①と㊬、①と㊭、①と㊮、①と㊯、①と㊰、①と㊱、①と㊲、①と㊳、①と㊴、①と㊵、①と㊶、①と㊷、①と㊸、①と㊹、①と㊺、①と㊻、①と㊼、①と㊽、①と㊾、①と㊿

- 余白を大切に。

- 密の動き大切。密は面を動かす。

- ➡の方向、指向性大切。

◆3月課題予告

見わたせば山もと霞む水無瀬川
ゆふべは秋となに思ひけむ

締切り 2月22日(必着)

月末の土曜日に予約をしましたが、
右足首を捻挫してしまいました。
残念ですがキャンセルに。お詫びに
銀製の手作りパターをプレゼント
させて下さい。完治しましたら、
グリーン上で対決しましょう。

※手本は水性ボールペン使用

月末の土曜日に予約をしましたが、
右足首を捻挫してしまいました。
残念ですがキャンセルに。お詫びに
銀製の手作りパターをプレゼント
させて下さい。完治しましたら、
グリーン上で対決しましょう。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

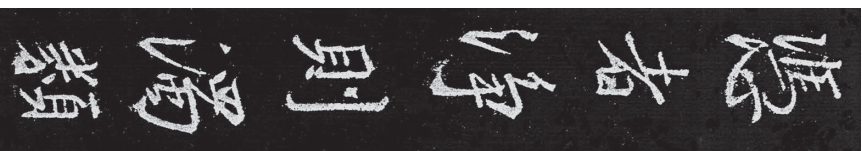
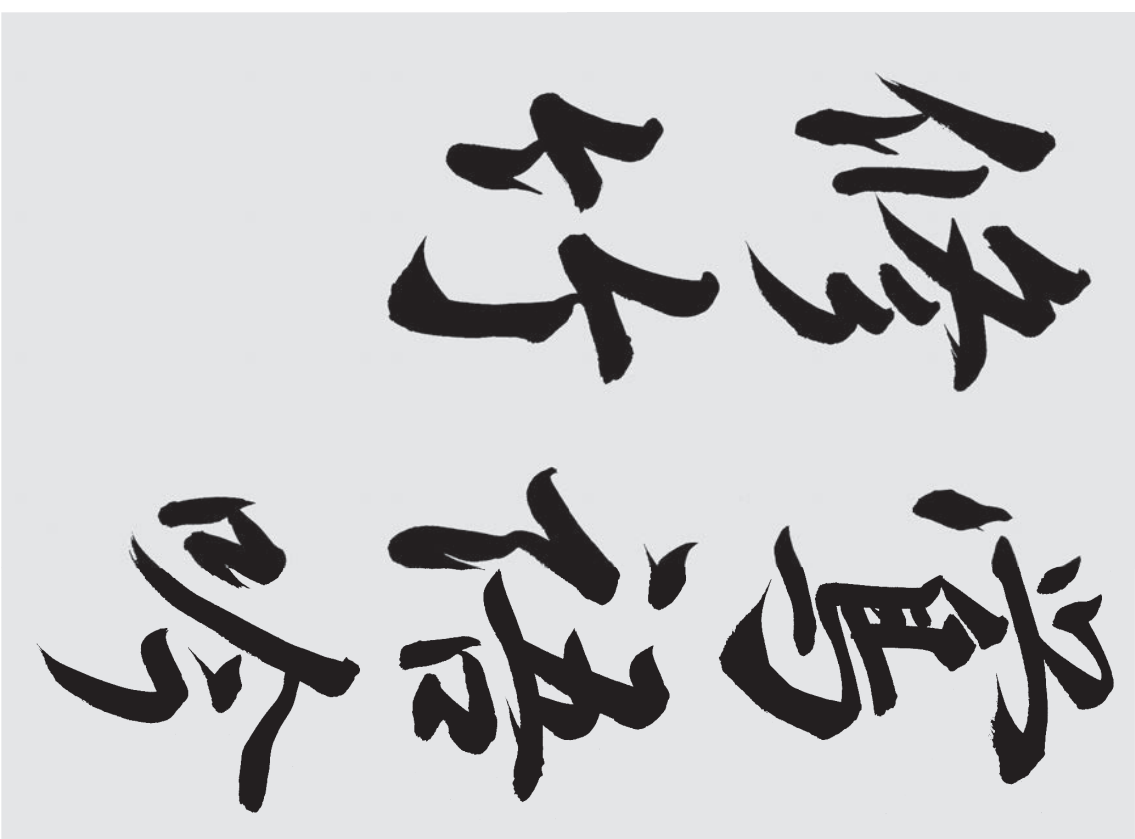
日本橋は広重の東海道五十三次の
第一景で、金街道の起点となった。

山口県下関市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 2月22日(必着)



準初段から師範まで

新入から1級まで (行書)

奥村暢之 臨

須田一葉 書

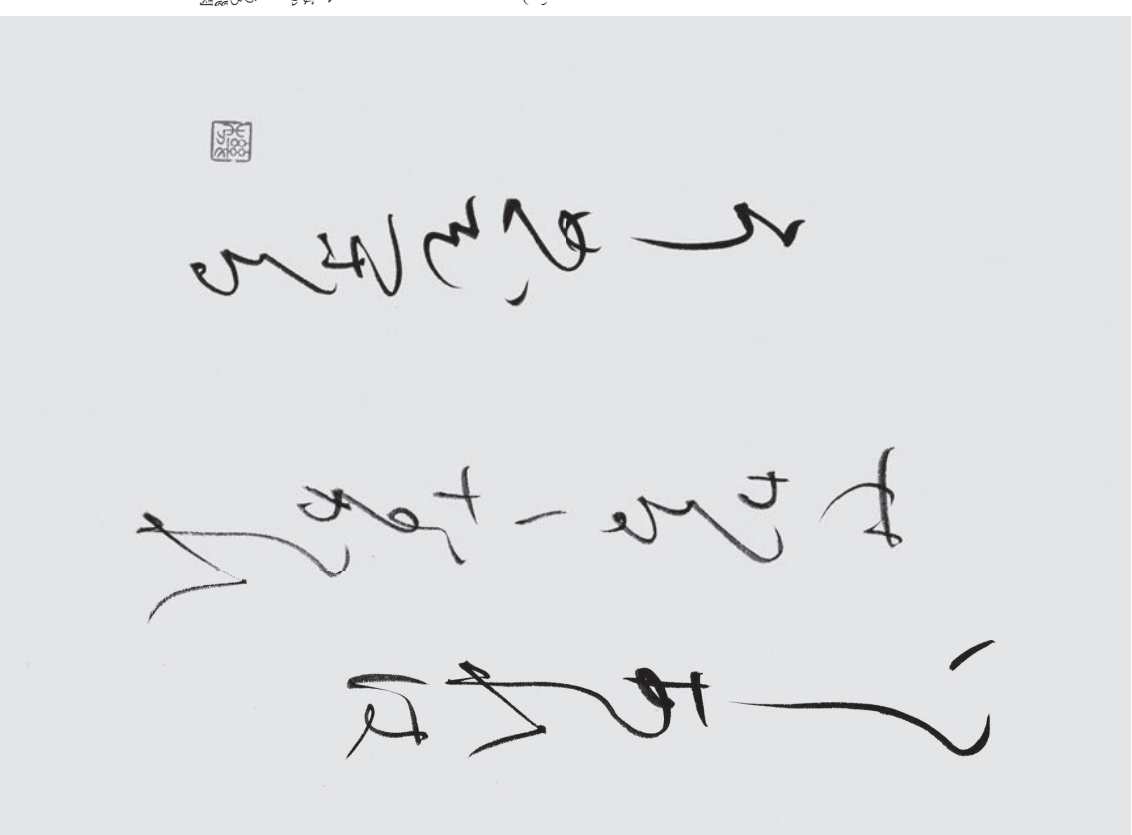
〔出典〕 集字聖教序（672） 〔筆者〕 王羲之法書より集字
〔読み〕 憑る所の者^{ところ}浄^{ものきよ}ければ、則^{すなわ}ち濁^{じよくるい}類も

〔読み〕 箴語^{かた}って修竹^{しゅうちく}に吟ず
〔大意〕 うぐいすが美しい声で高く長い竹に吟じている。

一般部毛筆かな課題

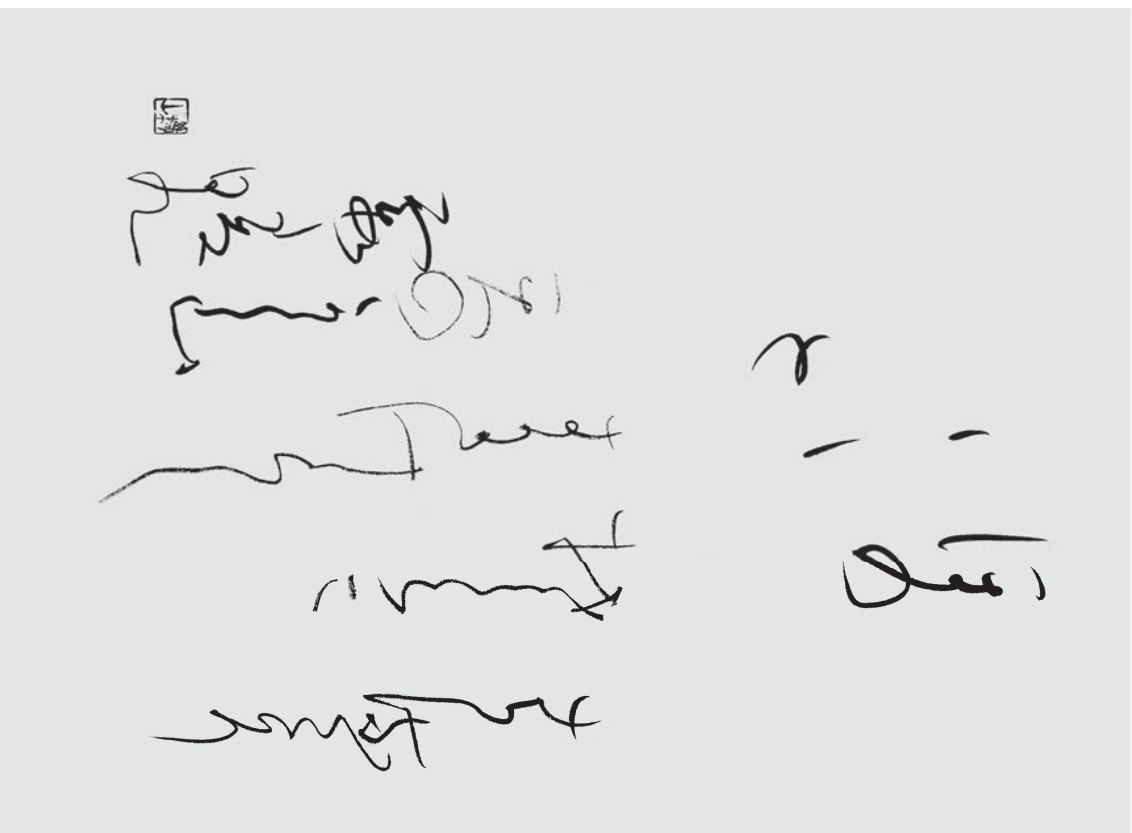
締切り 2月22日(必着)

新入から1級まで



浅井 一機 先生 書

準初段から師範まで



■画課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

石あればせかるる流れ梅光る
いあればせかるる流れうめ光る

【出典】 大竹孤悠

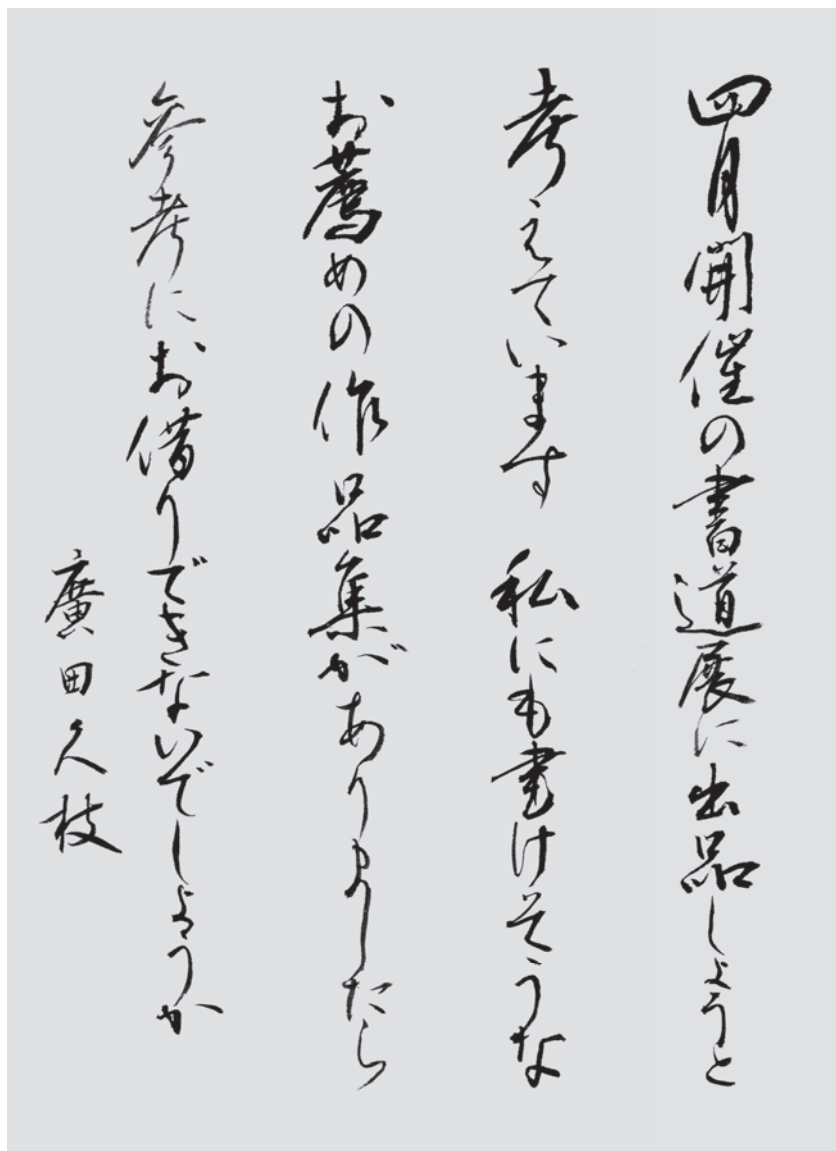
【句意】 峽流には石がごろごろとしており、その石にせかれては谷川は流れつづけている。あたりの梅は白く咲きかがやいている。

【出典】 後鳥羽院

【歌意】 ほのかに、春は空に來たらしい。今日見ると、天の香具山に霞がたなびいている。

ほのぼのと春こそ空に來にけらし
將流 曾幾ら二支外
天の香具山霞たなびく
可く 多奈日九

一般部毛筆細字課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅・細字作品の出し方〕

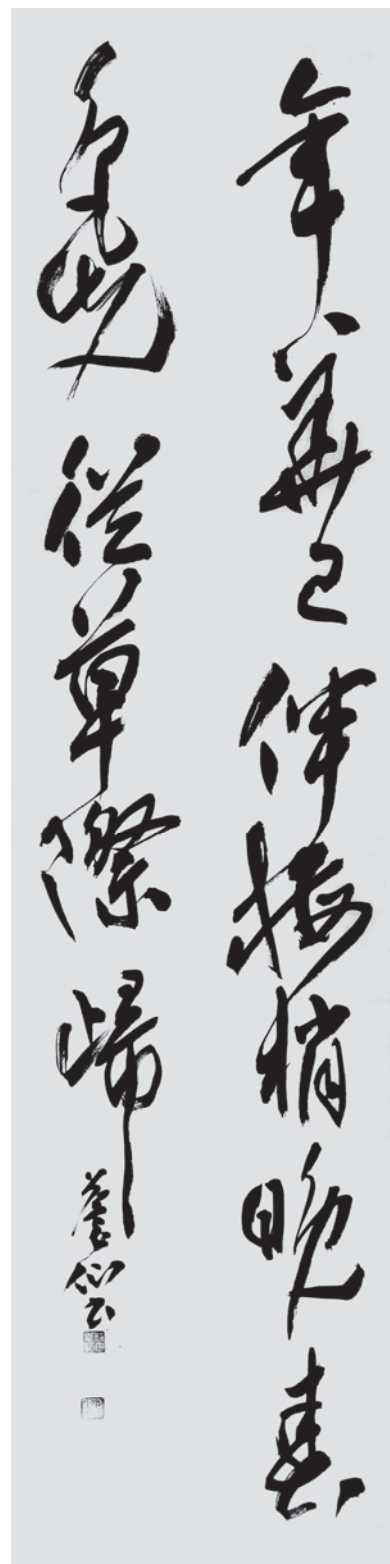
・印で墨つぎしました。

(ご自分の氏名)

四月開催の書道展に出品しようと
考えています 私にも書けそうな
お薦めの作品集がありましたら
参考にお借りできないでしょうか

〔条幅解説〕書く流れの中で「待て」…一瞬筆を止めては書いていく方法…かなには特に大切にリズムに乗り過ぎると懐が狭くなるからです。(特に右回転の画が早くなりがち)

一般部毛筆条幅課題



締切り 二月二十二日(必着)

半切 (一三六cm × 三五cm)

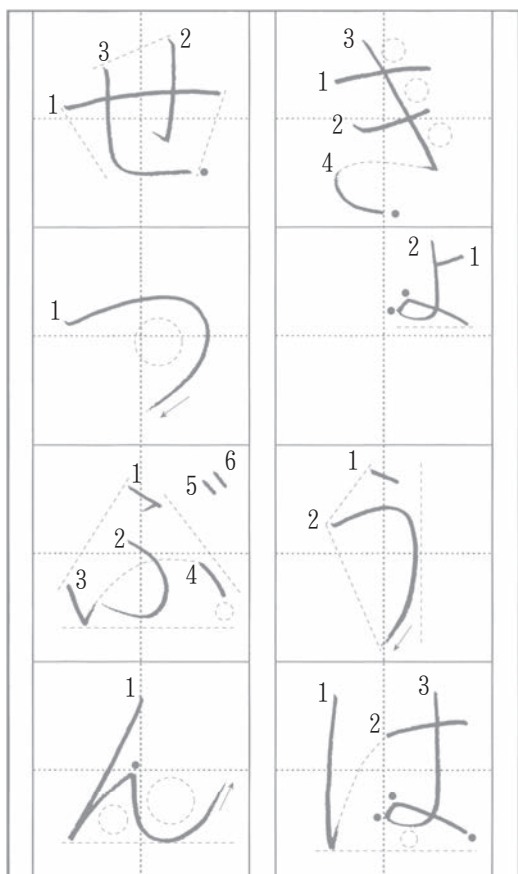
萩 田 蒼 仙 書

ねんかすてにばいしようにともなっておそく
年華已伴梅梢晩
しゅんしよくますそうさいよりかえる
春色先従草際帰

〔大意〕年月は早くも
梅の咲きかかるとつれ
て暮れ去り、春景は草
が青くなる処から来た。
初出品の方へ

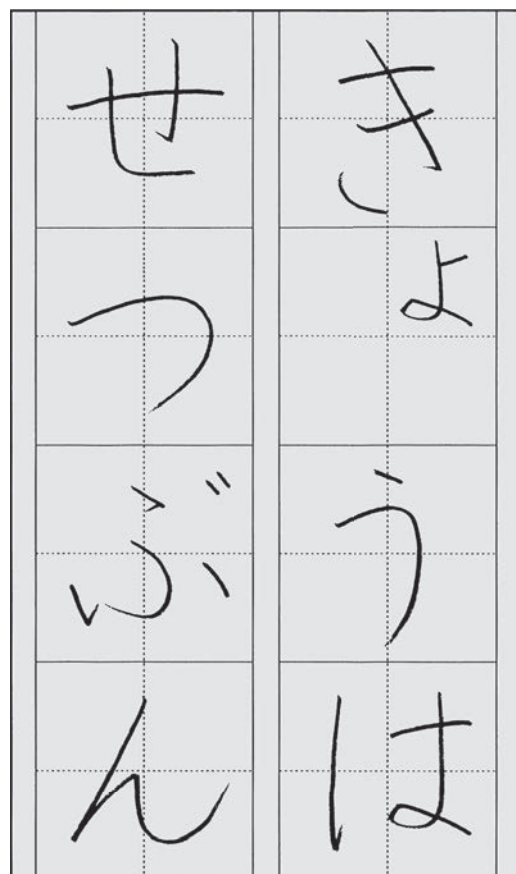
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



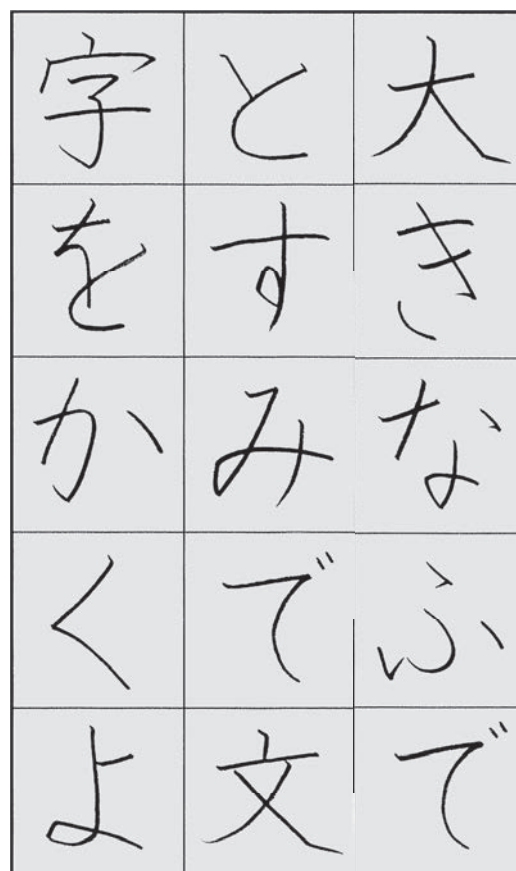
よ
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準
初
段
以
上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

金	自
で	分
買	の
う	お

新入1級

と	で	自
色	え	分
紙	ん	の
買	び	お
う	つ	金

準初段以上

小二年

豆	福
を	は
ま	内
く	と

新入1級

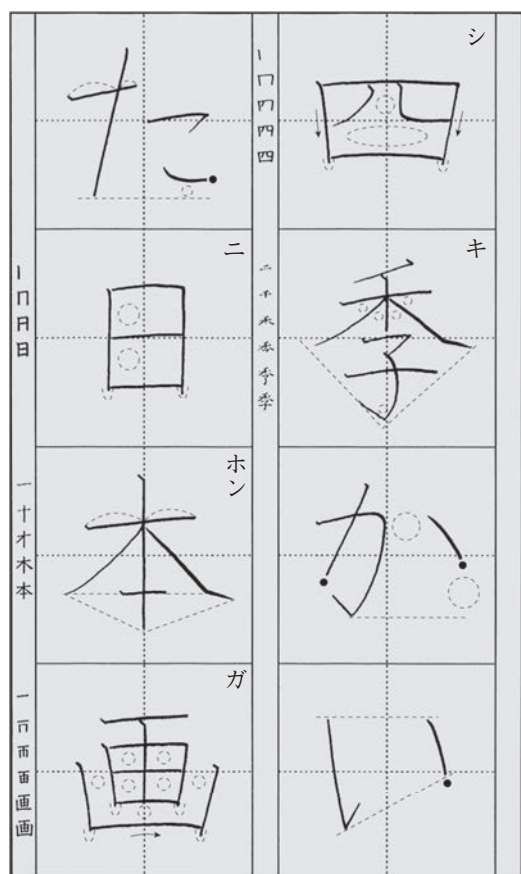
し	は	お
豆	内	に
を	と	は
ま	声	外
く	出	福

準初段以上

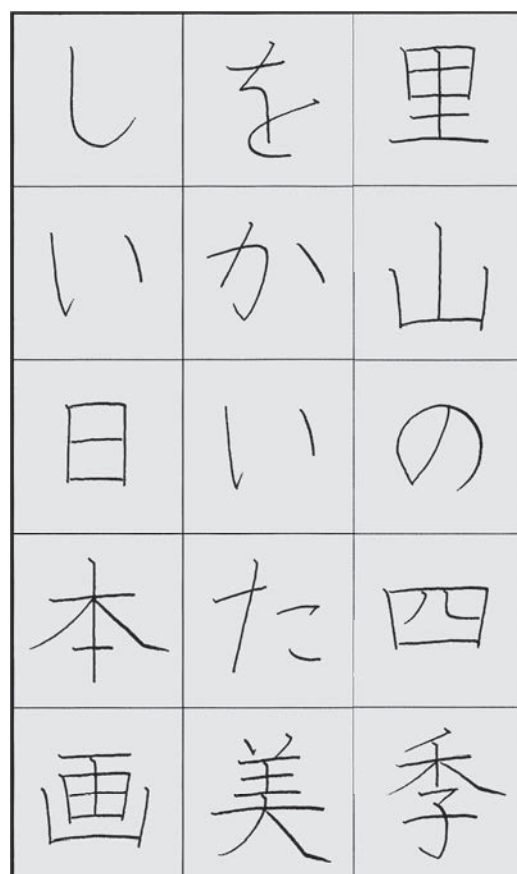
小三年

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

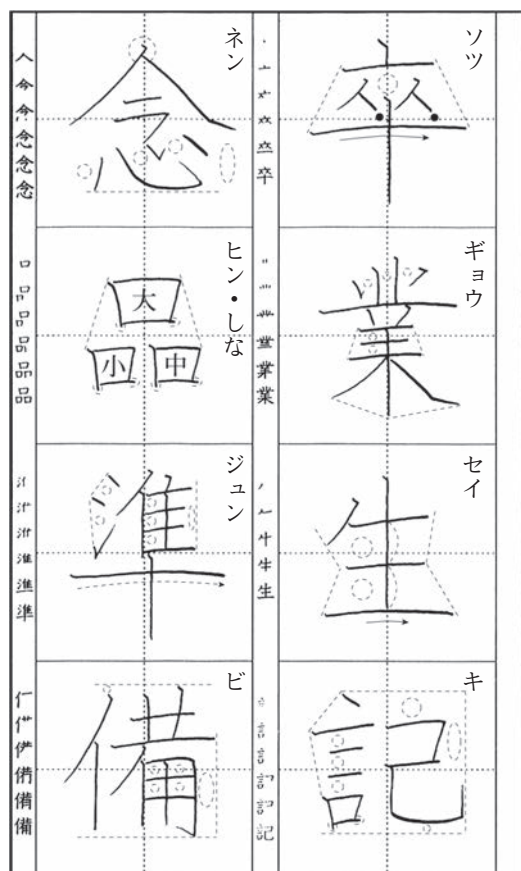


新入〜1級



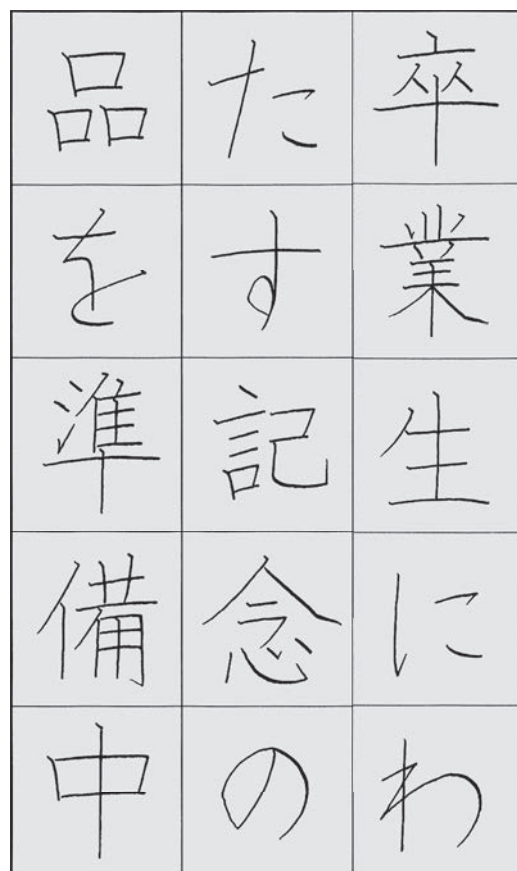
小四年

準初段以上



解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。



小五年

(全員)

小四年以上
岡嶋桂川書

〈用具 自由(黒色に限る)〉

好	校
歌	内
詞	放
朗	送

解説(よく見て習いましょう)

を	好	校
朗	き	内
読	な	放
し	歌	送
た	詞	で

小六年

(全員)

宿	都	温
泊	内	泉
施	近	が
設	郊	あ
へ	の	る

中二・三年

(行書)

い	れ	書
馬	た	斎
の	勇	に
彫	ま	飾
刻	し	ら

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題 お 小 沢 さん 三 華 書

お	父	面	せ	今
に	さ	を	つ	年
の	ん	か	ぶ	の
役	が	ぶ	ん	
		っ	は	
		た		



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 2月22日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 むら い じゅん こう 村 井 淳 光 書

左	銀	姉	ス	念
へ	盤	の	ケ	願
と	の	手	ー	の
回	上	に	ト	
る	を	引	リ	
		か	ン	
		れ	ク	
		て		



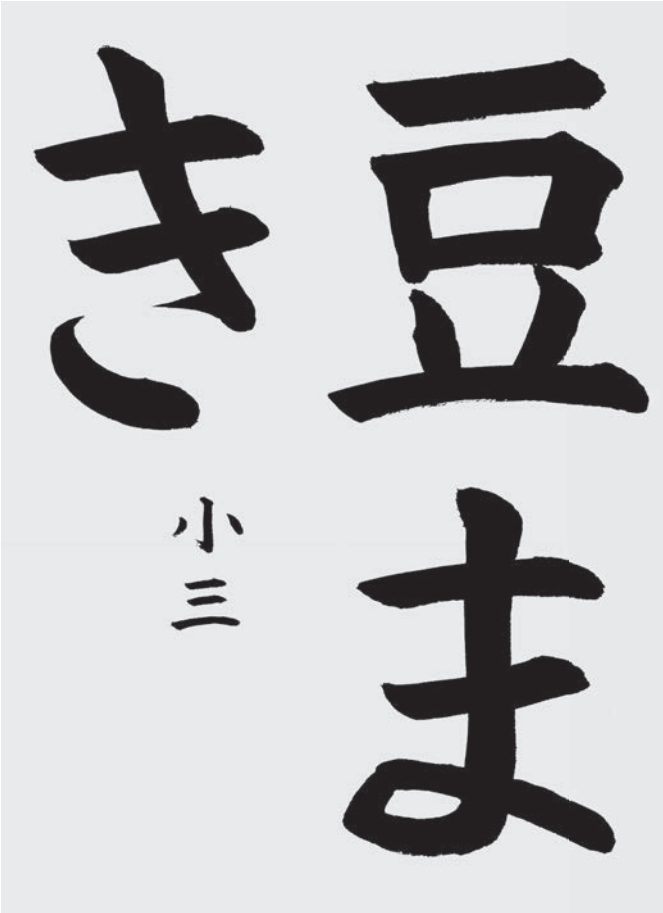
◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。







小三、小五年
水野香竹書

中二
近都
郊内

小六
放校
送内

刻 校
近 送
郊 彫

中一
彫馬
刻の